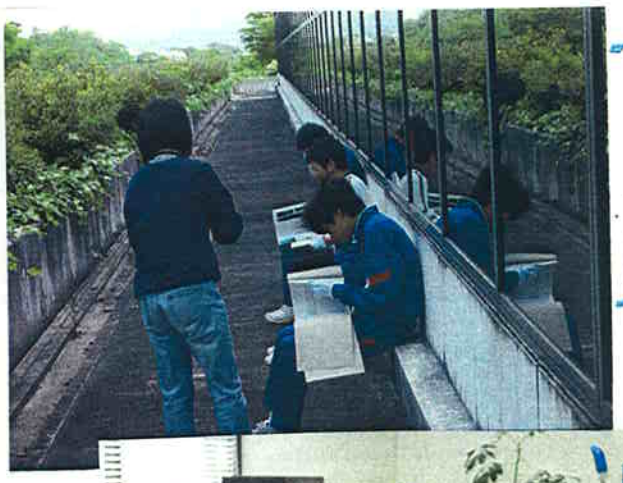
ひとはく新聞

トライやるの巻

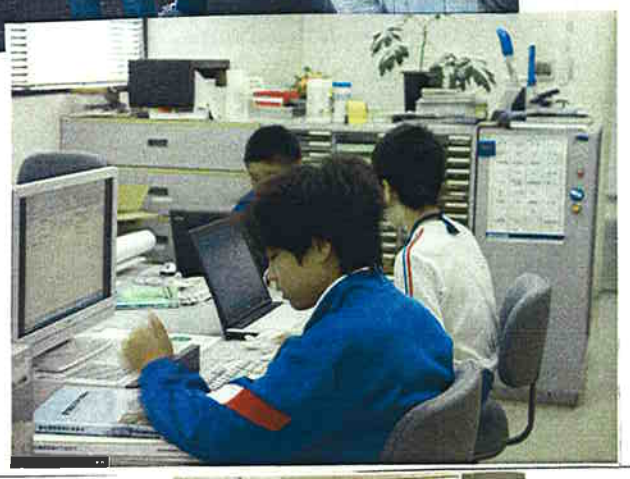
2010/6/11号
保存版
記者：長谷川悠太
富士澤中勇樹
西谷：坂田

環境系作業室での作業

環境系作業室では主に資料の管理整理を行なっています。具体的に言うと、虫干しといって定期的に資料を風通しのよい所でパラパラとめくっていくだけの作業です。この作業は地味ですがやらないと資料にカビがたまってしまって資料がダメになってしまうため大切な作業です。他には大量にある資料をパソコンに記録していく作業です。収蔵庫にある資料の発行者・編集者・発行日・種類(パンフレット、書籍、論文、報告書の内どれか)をパソコンに記入していきます。この作業の目的は大量の資料をどこに置いてあるのかを把握するためにするのだそうです。



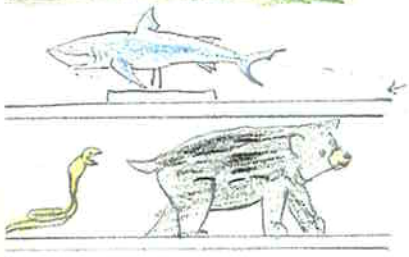
虫干し(左)
データ整理(下)



(前中)

(長谷川)

かぎりなく広い空間。
そこにはゴキブリやペンギン、クマのはくせいがおいてあった。



はくせい
オオカミもおいてあった。

博物館のウラの姿

みなさんが見ている展示物は、実はごく一部ということを知っていますか？展示物以外の標本はすべて博物館の右側の収蔵庫に保管されています。

そこにはいろいろ置いてあって中でも生物形、収蔵庫で標本が100万点以上あるといわれています。その収蔵庫には、昆虫、ほ乳類などが数多くおいてあり、ほ乳類の所ではくせいがたくさん置いてあります。

セミナーのお手伝い！

一、上田先生 マングローブ林の生態系

上田先生のセミナーについて、活動二日目、教えてもらいました。マングローブ林の周りではさまざまな生物が生息していて、そのうちの一つが食べ物をめぐるというようにぐるぐる回っているようです。その他、種間の関係図をイメージしたマングローブの立体もーど作りをさせてもらいました。細かい作業で集中しました。

二、武田先生 ピクニックですがすがしい環境をつくるには

武田先生の講義を二日目の午後に聞かせてもらいました。ピクニックや公園で人が集まりやすい空間や、道具には二次がこうされているのかを初めて知りました。とても楽しそうな研究だと思いました。

三、赤澤先生 手作りカメラについて

赤澤先生のセミナーの準備のお手伝いをすることになりました。カメラがスクリーンに逆に映る原理がよく分かりました。シャッターに牛乳パックでカメラを作らしてもらいました。カメラがスクリーンに逆に映る原理がよく分かりました。シャッターの時間をどうすごしまってと手に写真をとることは出来ませんでした。また家で再チャレンジしてみます。作業の方もしっかりこなしました。

(坂田)

感想

地味な作業はかりでしたが、普段の生活では体験できないことができて良かったです。

(前中)

しんどいこともありましたがいろいろおもしろいこともあって、すごく楽しかったです。

(長谷川)

環境系作業室に四日間お世話になり学んだことは表に出ないような作業でもそのうちの一つがとても大切な仕事であることがよく分かりました。四日間お世話になりありがとうございました。

(坂田)